

第136回東北地方交通審議会  
船員部会議事要録

令和2年2月21日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会 第136回船員部会

日 時 令和2年2月21日(金) 13:30~

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理(欠席)

豊田委員(欠席)、佐々木委員

労働者委員 : 熊谷委員(欠席)、高橋(雅)委員、鈴木委員

使用者委員 : 勝倉委員、白幡委員(欠席)、平岡委員

運輸局 : 畠山海事振興部長(欠席)、丹藤海事振興部次長

佐藤船員労働環境・海技資格課長

柳田船員労政課長、鈴木専門官、渡邊労政係長

## 議 題

- (1) 船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示について
- (2) 管内の雇用等の状況について
- (3) その他

## (資料)

- |      |                           |
|------|---------------------------|
| 資料1  | 船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示      |
| 資料2  | 船員職業安定業務取扱状況説明資料(12月分)    |
| 資料3  | 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)       |
| 資料4  | 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)       |
| 資料5  | 新規求人・求職数(全国)              |
| 資料6  | 有効求人・求職数(全国)              |
| 資料7  | 有効求人倍率(東北管内)              |
| 資料8  | 有効求人倍率(全国)                |
| 資料9  | 令和元年度 管内水産高校等新規学卒者の就職内定状況 |
| 資料10 | 新聞情報                      |

◎開 会

【丹藤海事振興部次長】

〔第136回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料の確認〕

◎議 事

(1) 船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示について

【高橋（真） 部会長】

それでは、議事に入りたいと思います。

お手元にあります議事次第の「議題（1）船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示について」、事務局から報告をお願いします。

〔柳田船員労政課長から資料1に基づき報告〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。なければ、ご了承いただいたものとします。

(2) 管内の雇用等の状況について

【高橋（真） 部会長】

それでは「議題（2）管内の雇用等の状況について」、事務局から報告をお願いします。

〔柳田船員労政課長から資料2から資料8に基づき報告〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

ただいまの報告内容について、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。なければ、ご了承いただいたものといたします。

(3) その他

【高橋（真） 部会長】

続きまして「議題（3）その他」に入ります。

最初に事務局から資料9の令和元年度管内水産高校等新規学卒者の就職内定状

況について説明をお願いします。

〔柳田船員労政課長から資料9に基づき報告〕

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

内容について、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。

【佐々木公益委員】

本校ですが、卒業予定者42名のうち3名が海技大学校へ行きますので、39名が就職希望ということですが、本日現在39名全員就職内定しております。

【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。

そのほかありますか。

【勝倉使用者委員】

前年の合計値はわかりますか。

参考までに次回教えていただきたいと思います。

【高橋（雅） 労働者委員】

この調査は、卒業した後もう一度、やるのではないのか。

【柳田船員労政課長】

年度明け、就職決まった後にもう一度、就職状況調査をします。

【勝倉使用者委員】

では、確定した今年度と前年度の数字を教えてください。

【柳田船員労政課長】

5月の部会で資料を提出します。

【高橋（真） 部会長】

では、年度が明けて、もう一度決まったところに、前年度のものと比較という形で出していただきたいと思います。

ありがとうございます。

それでは、次に、情報交換にいきたいと思います。まずは労働者委員から情報提供をお願いします。

【高橋（雅） 労働者委員】

労働協約改定の要求内容が決まりました。まず初めに内航ですが、18歳標齡給で1%、1,710円の引き上げで、17万2,460円という金額です。あと職務給については、部員で7,860円ということで3,020円アップの要求になっています。これは内航二団体と全内航同じです。その他として、船長水先慰労金の上限金額の撤廃、これは内航二団体と全内航同じですが、全内航のほうで家族手当の改善となっています。

大型カーフェリーですが、標齡給18歳で、こちらも1%、1,710円の引き上げで17万3,060円となっています。職務給ですが、員給で1万920円、2,750円のアップです。

あと定年の延長、事務部の有給休暇の日数の改善となっています。

旅客船ですが、こちらは部員初任額が17万3,860円で、4,510円のアップです。あとは諸手当の改善を図るという内容です。旅客船に関しては、各地区で交渉しますので、地区に合った改善になりますので、統一した内容とはなっていません。

また、港湾船ですが、部員の初任額が16万7,430円で、3,280円のアップです。あと定年退職年齢の延長、諸手当の改善、こちらのほうも各地区それぞれ会社との交渉になりますので、団体交渉となります。

地区漁船ですが、部員Aで16万7,000円という基本給です。この要求の金額より上回っている場合は、現行基本給の2%相当額を要求するという内容です。

あと月額保障給の固定化ということで、月額保障給自体が基本給、航海日当と精算処理金を含めたトータルのものとし、今、遠洋まぐろですと大体30万円くらいの数字ですが、この処理金の部分をもう固定化にしてしまうという要求です。例えば出漁手当のような考えです。

また、有給休暇ですが、ほとんどは1年で20何日とか10何日とかありますが、海員組合の共通した要求として、6カ月で資格が発生し、その日数を18日とする。それ以後勤務期間1カ月増すごとに3日ということで、1年で36日という数字です。

あと定年退職年齢は、年金支給開始年齢に合わせていくという内容です。

今後、2月末に要求書を各社、各船主団体に提出することになっています。

#### 【高橋（真） 部会長】

ありがとうございます。では、鈴木委員ありますか。

#### 【鈴木労働者委員】

八戸では、中型のイカ釣り船が、漁期の終了でほとんど切り上げましたが、やっぱり最低保障で終わるところがほとんどです。あとの五、六隻は今、太平洋側のアカイカを金華山の沖合で、時化もありあまり働けないとは言っていましたがとっています。それも大体2月いっぱいか3月の中旬で終わりますが、今までにない不漁ということで、やっぱり撤退する会社も全国的に今わかっているだけで、予定だけでも9から10くらいあるみたいですね。八戸では地元の船が1隻と八戸で担当している鳥取の船が1隻の2隻が廃業します。それには少し事情があり、要

は4年に1回の定期がちょうど重なり、船も古いので、4,000万弱かかるため、厳しいということで撤退するようです。

**【高橋（真） 部会長】**

わかりました。ありがとうございます。

それでは、使用者委員お願いします。

**【勝倉使用者委員】**

新型コロナウイルスの関係で、今我々業界の団体等では、海外で活動するかなりの数の遠洋マグロ漁船の基地港の対応状況を調査しています。今のところ各港とも検疫の強化を打ち出してきているというような状況もあり、これからこの新型コロナウイルスがどのくらいの広がりを見せるのかによって、海外の港での検疫や検査、手続というのがかなり厳しくなってくるものと思われま

す。また、空路で人が行き来する場合には、ほとんどのところが中国に滞在もしくは経由した人の入国を禁止するという状況になっていて、日本からの渡航者を受け入れないというところは今のところ、ほとんどありませんが、今後、日本の感染者数が増加してくると、それもどうなるのか、今それを注視しているところです。早く終息してくれればいいなと思います。

**【高橋（真） 部会長】**

ありがとうございます。では、平岡委員。

**【平岡使用者委員】**

鉄鋼関連の状況ですが、昨年の粗鋼生産量が前年比マイナス4.8%の9,928万4,000トンとなり、2009年以来10年ぶりに1億トン割れになりました。ちなみに中国の粗鋼生産量は日本の10倍の9億9,634万2,000トンでありました。日本製鉄が既に中止を決定している八幡製鉄所、小倉の高炉1基に加えて、広島県の呉製鉄所の高炉2基、和歌山県の和歌山製鉄所の高炉1基も休止する方針を固めました。同社の国内の粗鋼生産能力は約5,400万トンで、4基減ることにより全体の1割に相当する約500万トンが削減される見通しとなります。

日本の粗鋼生産過剰は予想以上に深刻で、国内でさばけるのは6,000万トン程度であり、残りは海外市場で扱わざるを得ないのが実情で、さらなる合理化により国際競争力を高める必要があります。

内航貨物船のうち鋼材船は、全体の5割強を占めております。貨物船業界では、高齢船員と老朽船増という二つの高齢化問題に加え、新たに余剰船舶の対応が課題となります。現在、内航船員の働き方改革が議論されておりますが、運賃と用船料の改善が不可欠であり、暗礁に乗り上げることが危惧されます。

**【高橋（真） 部会長】**

ありがとうございます。

先ほど労働者委員から有給休暇の話が出ましたが、船のほうでも働き方改革の話というのは出ているのでしょうか。

**【高橋（雅）労働者委員】**

今、行政も入り会議、検討に入っていると思います。

**【鈴木労働者委員】**

中央の船員部会で、別な形の協議会を立ち上げてやっています。

**【高橋（真）部会長】**

鯨の関係で、日本は捕鯨団体から脱退し、自由にとっていいことになりましたが、その後の変化について、何か情報はありますか。

**【高橋（雅）労働者委員】**

今までずっと調査でやってきたため、商業捕鯨が始まったからといって、すぐに自由にといいわけにはいかないのが、準備期間というのが今の実情だと思います。

**【勝倉使用者委員】**

実際に今まで捕鯨調査をやっていたのは、共同船舶だけだったので、捕鯨再開したからといって、ほかの民間企業に捕鯨のビジネスに参加しようという動きはないです。また、鯨の消費自体がもうほとんどない状態なので、鯨の流通を一から作り直し、消費が全国的な広がりを見せるかは、これからです。

ですから、商業捕鯨が始まったからといって、とれるだけとるというのではなくて、ある程度、国としてIWCに説明できるような頭数を計画的にとっていくということだと思います。

**【高橋（真）部会長】**

わかりました。ありがとうございます。

**【高橋（真）部会長】**

それからヤマニシ造船の会社更生法適用の新聞記事がありました。造船業界自体はどういう状況なのでしょうか。

**【勝倉使用者委員】**

日本の造船業、特に大型商船などの場合には、やっぱり中国、韓国など海外との競争にもろにさらされるというところがあります。ですから、そういったところとの競争に打ち勝っていけるところだけが残っていきます。ヤマニシさんというのは、東北では最大級と言われてはいますが、全国的に見るとそう大きな造船会社ではなく、商船、主に官庁船などを造り、漁船は造っていませんでした。今、

漁船を造っている造船所というのは、どこももう数年先まで受注が埋まっているような状況で、かなり活況を呈していますが、ヤマニシさんは造っていませんでした。

**【高橋（真） 部会長】**

わかりました、ありがとうございます。

**【高橋（雅） 労働者委員】**

水産高校の統合の話が結構出ていますが、いわき海星高校が統合すると、小名浜海星高校に校名が変わるということです。また、クラス編制も少し変わるようです。

それと、岩手の宮古水産高校ですが、今年の4月に宮古の商業高校と工業高校が統合して新しくスタートするとのことで、それに合わせて2025年に宮古水産もそちらに統合しようという話があり、先日、市役所に行ってきました。市役所でも反対しているということで、業界も反対しているし、とにかく反対だということです。

**【高橋（真） 部会長】**

わかりました、ありがとうございます。

ほかにありますか。

なければ、本日の議事は終了といたします。

次回の船員部会は、3月27日金曜日の13時30分から、会場はここ4階会議室で開催します。

◎閉 会